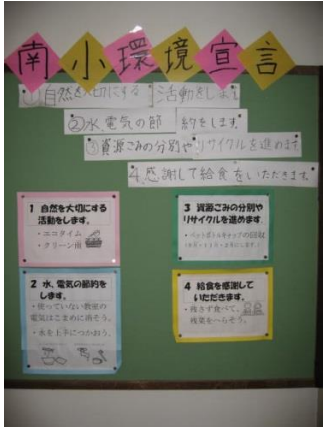





平成 2 8 年度 学校版環境 I S O への取組 概要報告

管内	市町村	学校名
菊池	大津町	大津町立大津南小学校

1 取組の概要

項目	活動の様子 (写真)	取組の実際
宣言	 <p>[環境宣言掲示]</p>	<p><b>児童の実態</b></p> <p>全校で環境学習をしているため環境を大切にしたいという意識が高く掃除・作業等に熱心に取り組む姿が日常的に見られる。</p> <p><b>大津南小環境宣言</b> &lt;児童昇降口前や各教室に掲示&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《行動目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 自然を大切に活動します。</li> <li>2 水、電気の節約をします。</li> <li>3 資源ごみの分別やリサイクルを進めます。</li> <li>4 感謝して給食をいただきます。(児童用)</li> <li>5 紙資源の節約をします。(職員用)</li> </ol> </div>
行動	 <p>[エコタイムの様子]</p>  <p>[ゴミ分別コーナー]</p>  <p>[一人一鉢の取組]</p>	<p><b>1 自然を大切に活動します。</b></p> <p>○年間を通し、朝活動、業間にエコタイムを設定し、校内の草取り作業、落ち葉拾い、一人一鉢の活動を継続的に行う。</p> <p>○井手川の清掃活動「クリーン南」を通して、井手の歴史や働について学び、身近な環境を大切に意識を高める。</p> <p><b>2 水、電気の節約をします。</b></p> <p>○使っていない教室の電気は必ず消し、節電に心がける。</p> <p>○清掃時の雑巾洗いはバケツ、歯磨き時はコップの利用を徹底する等、水を上手に使って無駄な水道使用量を減らす。</p> <p><b>3 資源ごみの分別やリサイクルを進めます。</b></p> <p>○環境委員会と各クラスの係の連携を通して、ペットボトルキャップの回収を行う。(9月・2月回収) 全校児童でかかわる活動にするため、家庭で出たキャップを学校に持参して貯めていく。100Kg 回収を目標とする。</p> <p>○ごみの分別を正しく行い、リサイクルを進める。職員はごみの分別を日常的に徹底して行う。</p> <p><b>4 感謝して給食をいただきます。(児童用)</b></p> <p>○給食の意義を児童に伝え、進んで食べようとする意欲を高める。各学級で完食することへの意欲や意識を持てるようにする。</p> <p><b>5 紙資源の節約をします。(職員用)</b></p> <p>○裏紙の使用を推進する。</p>

## 記録



〔クリーン南の様子〕

〔クリーン南終了後  
ゴミの分別を行う様子〕〔収穫したからいもを  
調理して食べる活動〕**1 自然を大切に活動します。****○落ち葉拾い、草取り活動**

年間を通して、始業前に6年生が校内の落ち葉掃除を行った。タイサンボクや银杏の葉がたくさん落ちる中、きれいな環境を維持することができた。運動場の草取りには全校児童で取り組んだ。

**○クリーン南**

南小では例年、「クリーン南」と称して、学校の前を流れる塘井手（ともいで）の水を止めて、全児童で清掃を行っている。今年で17年目になるが、年々減ってはきたものの、紙くずや瓶、缶などゴミが落ちている。塘井手の歴史を学習した6年生が、学んだことを紙芝居やクイズなどにまとめ、縦割り班ごとに下級生に伝えた。下級生は、クリーン南の意義を学んだ上で、清掃活動に取り組むことができた。

環境美化委員会が拾っていいゴミ、拾わないでいいゴミを提示したり、清掃後に6年生が全校児童の集めたゴミを分別したりして、高学年が中心となって学校全体で協力して行うことができた。また、児童が安全にゴミ拾いができるようにPTA環境委員の方に協力してもらい、井手にかかる木や草を取り除いてもらった。

清掃中、児童から「去年よりゴミが少ないよ。」との声も上がり、年々井手がきれいになっていると感じている。また、井手に生息している小魚やカニを見つけて、とても喜んでいた。川の生態を学ぶ良い機会にもなっている。

**○学級園、一人一鉢の取り組み**

理科や生活科の時間や業間のエコタイムの時間に学級園で植物を育てる活動を行っている。学級園では、低学年はひまわりやからいも、3年生はオクラ、トマト、キュウリ、スイカなどの様々な野菜を育て、収穫した。高学年ではツルレイシ等、学習に合った植物を育て観察を行った。

育てた食物を学級や家庭で食べることで自然に親しんだり、感謝する心情を高めることができた。

秋から冬にかけては、畑は休め、児童が一人一鉢ずつチューリップの球根とパンジーの苗を植え、学校を彩っている。

**2 水、電気の節約をします。****○電気をこまめに消す**

使っていない教室やトイレの電気をこまめに消すようにし、節電に心がけた。今年度は夏季の授業日数が多く、酷暑により



〔節電を呼びかける〕



〔4R 白川〕



〔ペットボトルキャップ集めの様子〕



〔もぐもぐタイム〕

エアコンを使う機会も多かったため、電力使用料は減っていないが、児童や職員、心がけるようになった。

### ○節水の取り組み

掃除の際、バケツを使用することは徹底できている。歯磨きの際はコップを使うようにしている。年度当初、特に低学年では、コップに水を汲んでいながら、水も出しっぱなしにすることもあった。随時、指導を行ったことで、無駄な水を流さないという意識が生まれてきた。高学年では、水を飲むときにも自主的にコップを利用する姿がある。

## 3 資源ごみの分別やリサイクルを進めます。

### ○資源ごみの分別

各教室で燃やすごみとプラゴミのごみ箱を設置して分別を行っている。その他のゴミは、職員室廊下に、ビン・カン、ペットボトル、不燃物、段ボールなどのゴミ箱を設置し、分別を徹底している。特に、職員が出すゴミについて、燃やすごみとプラゴミの分別を行うよう声を掛け合っている。

### ○「4R しらかわ」の取組

P T A活動の一つである廃品回収「4R しらかわ」を地域の協力を得て、年間2回7月と12月に行った。当日参加できない家庭からも協力を仰ぐため、事前に学校へ持ってきてもらうように環境美化委員会から呼びかけを行った。保護者に協力してもらい、たくさんの廃品を集めることができた。

### ○ペットボトルキャップ回収

自分たちにできるエコ活動として、環境美化委員会が中心となって、ペットボトルキャップの回収を行った。

環境美化委員会の児童による放送やポスターでの呼びかけもあり、9月の回収で96.0Kg集まり、目標に迫っている。2月に第2回の回収を予定しているが、次回の回収で目標を大幅に達成できると見込まれる。

## 4 感謝して給食をいただきます。(児童用)




### ○食育の推進

健康保健委員会が、給食時間に今日の献立を知らせている。また、食事や食べ物についての知識や理解を高めるように日常的に指導を行い、食べることへの意欲を高めている。

### ○もぐもぐタイムの設定(残滓量を1日平均2.0L以下に)

給食時間の終わり10分間を「もぐもぐタイム」と設定し、放送が流れたらその間は机を前向きに戻し、おしゃべりをせずに食事をすることを徹底している。



	 <p>〔給食完食の日〕</p>  <p>〔裏紙コーナー〕</p>	<p>取組を続けた結果、ほとんどの月で残滓量一日平均 2.0L 以下の目標を達成することができた。また、月を追うごとに残滓量が減ってきているので、引き続き取組を行っていきたい。</p> <table border="1" data-bbox="655 338 1449 533"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残滓量 -日平均</td> <td>2.0L</td> <td>2.0L</td> <td>1.9L</td> <td>2.1L</td> <td>1.6L</td> <td>1.3L</td> <td>1.1L</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔給食センターによる H.28 残滓調査結果より〕</p> <p><b>5 紙資源の節約をします。(職員用)</b></p> <p>職員は片面印刷プリントを廃棄せず裏紙コーナーに置いて、用途に応じて裏紙を利用することを心がけ、紙資源を節約することができた。</p>	月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	残滓量 -日平均	2.0L	2.0L	1.9L	2.1L	1.6L	1.3L	1.1L	結果	○	○	○	×	◎	◎	◎
月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月																			
残滓量 -日平均	2.0L	2.0L	1.9L	2.1L	1.6L	1.3L	1.1L																			
結果	○	○	○	×	◎	◎	◎																			
<p>見直し</p>	 <p>〔落とし物が目立つ〕</p>	<p>○「2 水・電気の節約をします。」</p> <p>放課後、トイレの電気がつけばなしだったことも度々あり、取組が十分でない。児童一人一人の意識が高まるよう呼びかけや掲示を行っていく。</p> <p>○「3 資源ごみの分別やリサイクルを進めます。」</p> <p>落とし物が多く、持ち主が現れないこともある。児童が自分の持ち物を大切にするような取組や持ち主の分からない落とし物を減らす取組を計画していく必要を感じる。</p>																								

2 成果と課題

成 果	課 題
<p>○どの取組にも児童は意欲的に取り組むことができた。単発で終わるのではなく、1年間を見通した継続的な活動を目指していく。</p> <p>○クリーン南や4R しらかわなど、高学年を中心に意欲的に取り組むことができた。上級生が下級生に意義を伝える活動を引き続き行い、南小の良き伝統として引き継いでいきたい。</p> <p>○栽培や井手の掃除を通して、児童が自然と親しむことができ、自然を大切にする心情を育むことができた。</p> <p>○児童に環境 ISO 活動の呼びかけを行うことで職員の意識が変わり、職員の意識の高まりが児童へ伝わっていき、ゴミの分別や水・電気の節約といった日常的な行動に表れていった。</p>	<p>●環境に対する取組を伝統的に行っている反面、取組が毎年同じものになっている。次年度は、今の環境や児童の実態に合わせて計画を行い、活動を進めていきたい。</p> <p>●水、電気の節約の数値目標が、気候や校内工事等に左右されやすく、目安とならなかった。ペットボトルキャップ回収目標のように、児童が取り組んで達成できるような数値目標を設定するようにしたい。</p> <p>●ISOの宣言内容や取組の成果が、全校児童に十分に伝わっていない部分もあった。また、保護者に協力してもらっている部分も大きいので、成果の報告をしっかりと行っていく必要がある。</p>